

事業効果

- ① **支出** 可燃ごみ **2.87トン**の削減で約**10万円**の処理費用が削減できました。
(可燃ごみの処理費用は 35,000円/ト)
- ② **収入** 雑がみ **1.52トン**の回収で約**8千円**の資源回収による収入が増加しました。
(雑がみの平均買取単価は 5,000円/ト)
- ③ **経費削減額** (①+②) 2地区30世帯のご協力で **108,000円**の経費が削減されました。

町内全世帯(4732世帯/7月1日現在)で取り組めば、約**1,700万円**の経費が削減される可能性があるのではないのでしょうか。

参加者の皆様からの声

- 「ごみ出しの際に袋が軽くなってごみ出しが楽になりました」
- 「生ごみが減ったことで袋の中身がきれいになりました」
- 「ごみの分別を前よりもさらに意識するようになりました」
- 「家族でごみ出しを意識するきっかけになりました」
- 「コンポスト容器を積極的に使うようになりました」
- 「可燃ごみを出すのが週2回から週1回になりました」



ごみ減量マイスターの認定証を贈りました

ごみ減量化モデル事業に参加された方々から、「まだごみを減らせる余地があることに気づけた」、「これからも続けていく」とのご感想をいただきました。そこで、**ご協力をいただいた30世帯の方々へ「ごみ減量マイスター」の認定証を贈らせていただきました。**今後ごみ減量化の先駆者としてごみ減量化事業へのご協力をお願いします。



番匠1区
新保知義さん



上郷地区
野口紀子さん

令和元年度のごみ減量化モデル事業では、経費の削減から、ごみ減量に対する意識の変化まで、はっきりと成果を確認することができました。「慣れれば簡単」「これからも継続したい」との声もあり、「やり始めればできる」ことの実感を感じたことと思います。

現在、令和2年度のモデル事業として、春和4区・番匠台区の2地区30世帯の方にご協力いただいています。少しの手間で、始めれば続けることができるごみの減量化。モデル地区の皆さんに限らず、皆さん、ごみの減量化の取り組みを少しでも始めてみてはいかがでしょうか。

実績報告

上郷・番匠1区

可燃ごみの減少を目的として、令和元年度にごみの減量化に取り組んでいただいた「ごみ減量化モデル事業」の実績をお知らせします。

事業期間 1年間
(平成31年3月1日～令和2年3月31日)
参加世帯 30世帯
(上郷地区15世帯・番匠1区15世帯)

主な取組内容

- ・コンポスト活用による生ごみの減量や水切りの徹底
- ・ごみ分別の徹底。特に「雑がみ」を資源物として回収
- ・剪定枝や刈草の自家処理または堆肥化
- ・可燃ごみ(週2回)及び雑がみ(月2回)の重量測定

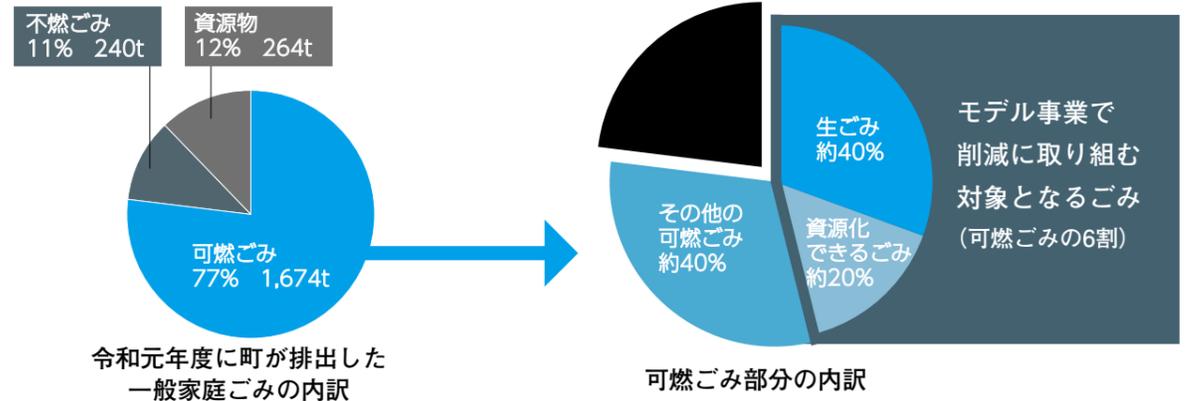
お金をかけて処分するもの(可燃ごみ)



町の収入になる資源(雑がみ等)へ

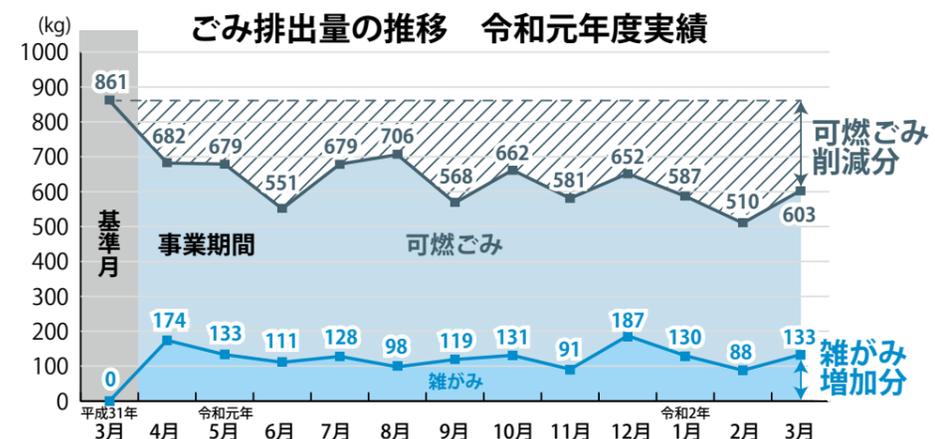
現状

町から令和元年度に搬出した可燃ごみは約1,674t。町が令和元年度にごみの処理のために小川地区衛生組合に支払った負担金は約1億400万円。この金額はごみの重量で決まります。



事業実績

モデル事業に参加した30世帯の可燃ごみと雑がみの排出量は以下のとおりです。



- 可燃ごみ削減量 **2.87トン**(約27%)
- 雑がみ回収量 **1.52トン**(約15%)
- ・可燃ごみは準備期間の3月と比較すると毎月2～4割が削減されました。
- ・前年同月比(平成31年3月と令和2年3月)では約3割の可燃ごみが削減されています。